補修・補強フォーラム2018

コンクリートメンテナンス協会

「構造物の健康寿命」テーマに

全国11会場で開催

（一社）コンクリートメンテナンス協会（徳納剛会長）が主催する『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム２０１８』が５月２日の山口会場を皮切りに、今年も全国11会場で開かれる。「コンクリート構造物の健康寿命を考える」をテーマに産学官の専門家が最新の知見や補修技術を披露する予定で、広島会場（５月９、10日、定員１２００人）などメイン５会場は、１・２日目で内容が異なる２日間日程となっている。

「特定の技術に偏らず、技術者が選択できる幅広い知識の習得」（徳納会長）をコンセプトに毎年開いている全国フォーラムも今回で９年目。参加者も昨年度は過去最高となる14会場延べ６０００人超を動員し、国や都道府県、市に加えて（公社）土木学会、（一社）日本建築学会、（公社）日本コンクリート工学会など多くの業界団体等が後援している。

主要会場の一つである広島では、元広島工業大学教授で近未来コンクリート研究会代表の十河茂幸氏が「長寿命化のための点検要領について」を解説するほか、広島工業大学工学部の竹田宣典教授は「コンクリート構造物を長生きさせるための方策」としてコンクリート・鉄筋・表面保護のコラボレーションによる延命策を伝授。

また、協会技術委員長の江良和徳氏は、１日目で「コンクリート構造物の劣化と補修技術」をテーマに補修の基礎について、２日目は「亜硝酸リチウム補修技術と健康寿命」と題し、同協会が得意とする亜硝酸リチウムを使用した補修・延命化技術を紹介する。参加は無料。山口、広島以降の開催地は、北海道（５月21、22日）、東京（５月29、30日）、宮城（６月７日）、香川（６月14日）、大阪（６月19、20日）、福岡（７月11、12日）、沖縄（７月26日）、新潟（８月９日）、愛知（８月30日）となっており、参加申し込み等は協会ＨＰからの専用フォームで受け付け、各会場の定員に達した時点で締め切る。

広島フォーラム（ＪＣＭアステールプラザ、午前10時～）の内容は次の通り（登壇順、敬称略）。

５月９日＝「演題未定」浜崎宏幸（中国地方整備局技術調整管理官）▽「長寿命化のための点検要領について」十河茂幸（近未来コンクリート研究会）▽「コンクリート構造物を長生きさせるための方策」竹田宣典（広島工業大学）▽「コンクリート構造物の劣化と補修技術」江良和徳（コンクリートメンテナンス協会）▽「すぐに役立つセメント系補修・補強材料の基礎知識２０１８」早野博幸（太平洋セメント）

５月10日＝「コンクリート用塗料の性能と機能」中丸大輔（日本ペイント）▽「電気化学的防食技術と健康寿命」田中一弘（ナカボーテック）▽「亜硝酸リチウム補修技術と健康寿命」江良和徳▽「ＰＣ構造物の健康寿命を延ばす維持管理」真鍋英規（ＣＯＲＥ技術研究所）▽「石油樹脂・アクリル樹脂系材料を用いたコンクリート構造物への圧力注入止水工法」佐藤亘（ＳＴＴＧ工法協会）▽既設コンクリート構造物へのプレストレス導入技術と健康寿命」三原孝文（極東興和）▽「支承リバイバルシステム」野村一貴（ダイクレ興産）▽「既設構造物の健康寿命を延ばす基礎補強技術」稲冨芳寿（極東興和）